

編集・発行・お問い合わせ：株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL: 03-3211-7117 MAIL: kouho@waku-2.com

サンカク副業社員やサンカクパートナー、イベント参加者にとって、キャリアプランやスキルアップを考えるきっかけや、自信を得られる場として、『サンカク』はどのように役立っているのか？社会人のインターンシップやスポットディスカッションから見えるトレンドや、副業の実態から見える未来の働き方とは？

今、キャリアに関して“もやもや”を感じている方も、一步踏み出せば未来は明るい。その一步踏み出すきっかけを提供している『サンカク』から、「未来のキャリア」についてお届けするニュースレターが「ミラキャリア通信」です。『サンカク』に携わる方々にとって、『サンカク』は未来に向けた自身のキャリアプランやスキルアップを考える上でどのようなきっかけとなり、自信を得ることができる場となっているのか？社会人のインターンシップやスポットディスカッションから見えるトレンドや副業の実態から見える未来の働き方とは？『サンカク』ならではの情報を活動レポートとして今後もタイムリーに発信していきます。

Vol.4：「ビジョン・ミッション・バリュー」の策定でコミュニティ全体の道しるべに

『サンカク』の現場から

Report from Sankak

リクルートキャリア 事業推進室 古賀 敏幹

今回は、『サンカク』がどのような価値を実現しようとしているか、その「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」を紹介します。副業者を受け入れる際の一つのヒントとしてぜひ、ご確認ください。

『サンカク』は、リクルートキャリアのサービスの一つですが、サンカクパートナーやサンカク副業社員など、多くのメンバーが運営に関わっています。そのため、『サンカク』に関わる一人一人が「立ち返れる場所」として、独自で「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」を策定しているのです。

『サンカク』は、サービス開始当初より、「日本中のビジネスパーソンにやりがいを持って働ける機会を提供したい」という強い思いのもとサービス運営をしています。この『サンカク』が掲げる思いに共感いただき、さまざまなカタチで関わってくださる方が集まり、2020年9月現在もコミュニティは拡大しています。運営に携わるリクルートキャリアの社員は数名ですが、副業やボランティアでサービスを支えているメンバーは100名以上。特殊な組織体制なのです。

一方で、その非言語で醸し出される「思い」に集った仲間たちで構成している組織だからこそ、「道しるべ」となる明確なカタチを共通して認識しておく必要性が高まりました。これを怠ると、コミュニティから醸し出される雰囲気などで人によって解釈や捉え方にズレが生じてしまったり、希薄化してしまったりする危うさや脆さがあるためです。『サンカク』は、コミュニティの拡大とともにこの課題にいち早く気づき、「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」での言語化を実施し、それに伴う仕組みの整備を進めています。

「熱中できるテーマとの出会い」や「やりがいの実現」の礎となる「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」

実際に『サンカク』の「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」について見ていきましょう。

ビジョン

日本中の働くひとが、やりがいをもって仕事に向き合っている社会の実現。

当社、リクルートキャリアの「ビジョン」は、「ひとりでも多くの人たちが「働く喜び」を膨らませ、「働く喜び」の輪が、新たな活力を生み出している社会を創りたい」です。『サンカク』もそのビジョンに沿いながら、このサービスの特徴である、「やりがい」というキーワードを挙げています。

ミッション

私たちは、会社の壁を越え、一緒に働きたいと思える仲間の出会いを創出します。

私たちは、会社の壁を越え、働くひとに飛躍・挑戦する（バッターボックスに立つ）機会を提供します。

私たちは、働くひとが「これからの5年間のキャリアで、何に熱中したいのか？」を自分自身で考え、意思決定する機会を提供します。

次に「ミッション」。「やりがい」につながる要素として、「仲間」「チャレンジの機会（チャンス・打席）」「熱中できるテーマ」を挙げ、それぞれに対して参加者（カスタマー）に機会を提供することをミッションとしました。

バリュー（行動規範）

1. Decide Yourself! ~何がゴールか？は自分で決める~

「機会に対して覚悟を持ち、自分自身の意思で決め、それをやりきる」

その先に仕事のやりがい生まれる。だからこそ私たちには「こうしなくてはならない」というルールではなく、「どうありたいか」という問いが常に存在する。

その問いに正解はない。自分なりの答えを見出し、やり遂げる。

その先に、進むべき道を見つけ、創造し、熱中している自分がいることを信じて。

2. Make Synergy! ~成果は一人で成し遂げるものではない!~

「早く行きたければ、ひとりで行け。遠くまで行きたければ、みんなで行け。」

仲間をお互いに信じ、刺激をし合い、学び合うことで自分では予想もなかったゴールにたどり着けることがある。だから、一人でプロジェクトを進めるのではなく、「バディ」としてタッグを組み、一つのプロジェクトを成し遂げる。サンカクを通じて会社という枠を超えた仲間を増やしていこう。

3. Full Swing! ~「できるか」ではなく「やりたいか」~

「"できる"ではなく"やりたい" という意思で判断をする。」

普段の仕事の枠ではない、別の場で取り組む活動だからこそ一歩思い切ったチャレンジができる。

失敗を不安に感じるかもしれない。でも、失敗も成功も、アクションしなければ得られない。

自分自身の「やりたい」気持ちを大切にしよう、思い切って機会を自分で掴み取ろう。

途中で悩んでも、相談できるバディや仲間がいる。自分と仲間を信じてみよう。

最後に「バリュー（行動規範）」です。「バリュー（行動規範）」は、『サンカク』が掲げる「ビジョン・ミッション」を実現するために、その運営に携わるメンバーが体現すべきこととして定義しています。それぞれ「ミッション」の部分で挙げた「仲間」「チャレンジの機会（チャンス・打席）」「熱中できるテーマ」にリンクする形になりますが、メンバーには下記をお伝えしています。

- 『サンカク』の一つ一つの取り組みも1人で抱え込まず、仲間を巻き込み、切磋琢磨・シナジーを起こしながら成果につなげる
- もし打席（チャレンジの機会）が自分に巡ってきたのであれば、「どうすればいいのか？」と誰かに答えを求めるのではなく、「どうしたいのか？」と自分自身で意思決定し、失敗を恐れずフルスイングする

これらを実現して積み上げていく先に、自らの「熱中できるテーマ」との巡り合いや、さらにその先にある「やりがいの実現」につながっていくのだと信じています。これらの考えの礎となる調査・研究結果に関しましては、2017年に調査を実施しておりますのでご参考ください（※1）。

※1：サンカク、二枚目の名刺 協働調査 「副業を含む社外活動*がキャリア意識に与える影響」
<https://www.recruitcareer.co.jp/news/pressrelease/2017/170313-01/>

「ビジョン・ミッション・バリュー」を実現するためには？

前述の通り、『サンカク』は多くの方々の支えのもと、日々運営しています。そのため、携わる方々との協力体制の構築が不可欠です。立ち上げ当初は仕組みを整えられておらず、各メンバーの「フルスイングな自走」に依存しながら、手探りで進めている状態でした。しかし、仕組みがないことによる心理的負担が出てくる場面も。「ビジョン・ミッション・バリュー（行動規範）」の策定と共に大切なのは、それらを一人一人に浸透するような仕組み作りです。『サンカク』でも、「自然とバリューに則って行動できるような仕組み」の整備を進めました。新しい仲間に対しては、これらを伝えるための「オンボーディング（定着施策）」の実施や、案件終了後に指針に照らし合わせながらの振り返りを実施するなど、さまざまな取り組みを進めています。今回はその中でも企画検討をする際のガイドラインをご紹介します。

基準ではなく「観点」を伝えて自ら考えることを促すことで体得していく仕組みに

『サンカク』が掲げる、会社の壁を越えて「仲間」「チャレンジする機会」「熱中できるテーマ」との出会いを創出するために、「社会人のインターンシップ」の各案件を企画する際のガイドラインを策定しています。ガイドラインと言うと、通常は「～してください、～を満たして下さい」というようなやるべきことの基準を明確に定義することが多いですが、『サンカク』の場合は、「～について考えて下さい」というような、観点だけを示すようにしています。各案件の担当者には「その観点に対してどのように考えて企画に落とし込むかをご自身で意思決定してほしい」「主催企業やインターンシップ参加者に満足してもらうためにやれること、やりたいと思うことは全力で取り組んでほしい」と、指針にあるメッセージを都度お伝えしています。そうすることで、各担当者は自ずと、「バリュー（行動指針）」にある「Decide Yourself」、「Full Swing」を体現できるようになるのです。

『サンカク』のようなコミュニティではなくとも、部署やプロジェクトなどの小さなユニット（単位）であっても、独自に「ビジョン・ミッション・バリュー（行動指針）」を策定し、それを体現する仕組みを整えることで、メンバーが共通の思いの元で動くことができます。これにより、メンバー一人一人のパフォーマンスの向上だけでなく、メンバー同士のコミュニケーションも円滑・活発になるでしょう。ぜひ実践してみてください。

『サンカク』に副業社員として携わる注目の方々にフィーチャーしてご紹介します。

第4回目は、2019年5月からサンカク副業社員として携わる木本達也さん。ご自身で社長として会社を経営しながら副業ではイベントプランナーとしてご活躍される木本達也さんですが、副業ではどのような経験を得られたのかなどのお話をお伺いしました。



- お名前 : 木本達也さん（35歳）
- 本業 : 株式会社 KEIMA 代表取締役社長
- 居住地 : 千葉県
- 『サンカク』での活動開始時期： 2019年5月～

『サンカク』からインタビュー

現在の『サンカク』への関わり方を教えてください

インターンイベントのプロジェクトマネジメント業務をしています。業種は特に決まっていますが、コンサルティング、SaaS、MA、デジタル関連の案件を担当しております。

『サンカク』へ参加したきっかけ・理由を教えてください

前職のマーケティング会社にて充実感を感じていた一方、自分の提供できる価値が、社外の世界でも通用するの不安に駆られていました。そんな時に『サンカク』を知り、エントリーのボタンを押しました。『サンカク』では、当時、週1回のクライアント企業の役員の方へのメンタリングセッション、1ヵ月後に社長への提案という濃い内容でした。本業では出来ない経験が得られ、社会人のインターンシップの意義を身をもって実感しました。その後、『サンカク』と定期的に連絡を取り合う中で副業社員のお誘いをいただきました。当初はお断りしたのですが、興味が勝り、周囲の理解も得られ、お引き受けいたしました。

『サンカク』での副業経験が本業に活きていると感じることを教えてください

視野、視点の広がりを感じました。副業でお仕事をご一緒する方々は、本業では接したことがない業種の方がほとんどでした。その中で、課題と向き合うことで得られた知識や、ディスカッションを通じて気付くことができた視点は、とても重要な資産になっています。本業ではマーケティング課題と向き合うことが多いですが、元々持っていたバックグラウンドだけでなく、『サンカク』で携わらせていただいた案件によって得られた学びで、本業のマーケティング課題の解決につなげられたことも少なくありません。あとは、大人数の会議やプレゼンで、緊張することが減りました（笑）

『サンカク』の「ビジョン・ミッション」があることで意識をしたり、行動が変わったりしたことはありますか？

「行動が変わった」というより、判断までの時間が早くなったと感じます。本業と副業を並走することで、バランスに不安を持つタイミングが全くなかったとは言えません。その時に、『サンカク』の「ビジョン・ミッション」が拠り所となりました。「なぜやっているのか」「何を目指しているのか」に立ち返ることで、速やかな意思決定につながりました。

あなたにとって『サンカク』に参加することで「実現できること」は何ですか？

「本業では得られない経験」や「メンバーとのつながり」は、これまでご紹介されていた副業社員の方と同様です。別の視点でお話いたします。私自身、社会人のインターンシップから学ばせていただいたことは、枚挙に暇がありません。しかし、この取り組みはまだまだ緒に就いたばかりです。イベントを通じ、受け入れ企業様が参加者の熱意に驚く様子や、参加された皆様の充実した表情を見て、変化を実感できる場に立ち会えることは、とても有意義に感じられます。

次回のオンライン開催の「社会人のインターンシップ」は？

今回ご紹介するのは、好評につきリピート開催となるデータ活用戦略のプログラム、SNS メディアのユーザー共創型クライアントマーケティングソリューションのプログラム、データサイエンス領域が未経験の方でも参加可能な金融サービスのプログラムの3案件です。

【株式会社千葉銀行】 #マーケティング #アプリ開発 #ビッグデータ

タイトル	地銀におけるデータ分析のアプローチを検討せよ！ データ活用による地銀の課題解決にサンカク！～オンライン開催～
日時	2020年9月26日（土）12：30 接続開始 13：00～17：30
エントリー〆切	2020年9月24日（木）12：00 予定
イベント詳細	https://sankak.jp/event/chibabank202008

【ルームクリップ株式会社】 #マーケティング #プロモーション #SNS

タイトル	【オンライン開催】おうち時間の可能性を広げる！ 暮らしを楽しむユーザーさんと共創するセールスプランニングにサンカク！
日時	2020年10月3日（土）12：30 接続開始 13：00～17：30
エントリー〆切	2020年10月1日（木）12：00 予定
イベント詳細	https://sankak.jp/event/roomclip

【株式会社セブン銀行】 #ビジネスモデル #商品企画 マーケティング

タイトル	【オンライン開催】豊富なデータで事業成長をリードする。 セブン銀行「データ・ラボ」にサンカク！（データサイエンス経験は不問です）
日時	2020年10月11日（日）12：45 接続開始 13：00～18：30
エントリー〆切	2020年10月8日（木）12：00 予定
イベント詳細	https://sankak.jp/event/sevenbank202010

※体験取材をお受けしております。ご興味のある方はお問い合わせください。

※今後の開催スケジュールの詳細は『サンカク』HPの「社会人のインターンシップ一覧」をご確認ください：

<https://sankak.jp/event>

『サンカク』の社会人のインターンシップとは：

『サンカク』が提供する社会人のインターンシップは、大手企業からベンチャー企業まで企業規模や業種に関わらずさまざまな企業が事業課題に関するテーマを掲げ、それらに興味を持ったユーザーがディスカッションを重ねてアイデアや解決策を提示していくサービスです。キャリアアップを目指すディスカッション参加者は、参加後に企業から副業や転職のオファーが届く可能性もあります。2020年8月時点で、登録ユーザー数は累計5.3万人、社会人のインターンシップのサービスをご利用いただいた企業は延べ約280社になります。